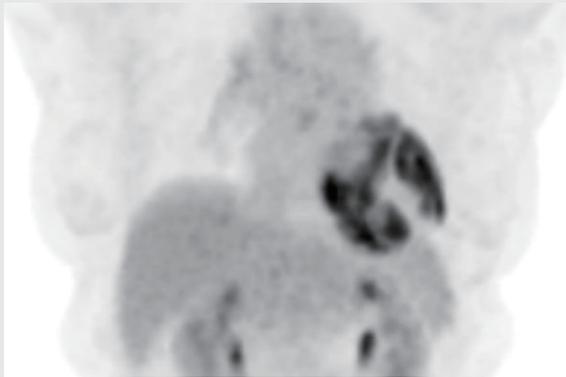
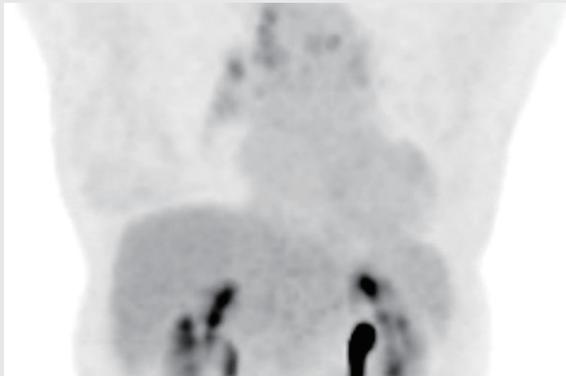


## ◆ 心サルコイドーシスに対する PET-CT 検査について

治療前



治療後



サルコイドーシスは全身のさまざまな臓器に原因不明の炎症が起こり、肉芽腫（慢性的な炎症で生じる腫瘍）を生じる病気です。この肉芽腫が心臓にできた場合を「心臓サルコイドーシス」と呼びますが、心不全や致死性の不整脈を引き起こすことがあるため放置できない病気です。PET-CT 検査は、他検査で心臓サルコイドーシスと診断された後、炎症の広がりや活動性を評価する目的で使用されることがあります。これは検査で使用する FDG 薬剤が炎症細胞に集積しやすい性質を利用しています。なお、心臓は正常でも FDG 薬剤が集積しやすい場所（糖代謝が活発な場所）であるため、検査前は十分な絶食や炭水化物制限を行い、サルコイドーシスの病巣だけに FDG 薬剤が集積するよう準備が必要です。

## ◆ 大型血管炎に対する PET-CT 検査について

血管炎は血管に炎症が起こる病気です。体のどこかで血管に炎症が生じると、その周囲から全身に炎症が広がり、さまざまな臓器に障害をもたらす可能性があります。PET-CT 検査では一回の検査で全身のスクリーニングが可能で、全身のどこに炎症を生じているか評価することができます。これは検査に使用する FDG 薬剤が炎症細胞に集積しやすい性質を利用していますが、薬剤の集まり方で炎症の程度も推測することができます。検査の保険適用は大型血管炎（高安動脈炎または巨細胞性動脈炎）と診断された方が対象となります。

